

◆司会

それでは、ただ今から市長定例記者会見を始めさせていただきます。市長、よろしくお願ひ致します。

◆市長

よろしくお願ひします。今日の話題は6月補正予算案の概要についてであります。今議会に提出する補正予算の規模は一般会計が約70億9,200万円の増額、企業会計が6億1,300万円の増額、総額では約77億500万円の増額で、6月の補正予算の規模としては政令指定都市移行の後、2番目の規模となります。お手元の配付資料、6月補正予算案のポイントの①をご覧ください。今回の予算には三つの柱があります。すなわち「原油価格・物価高騰等への緊急対策」と、「新型コロナウイルス感染症への対策」と、「脱炭素社会実現への対策」で編成をしました。まず一つ目のポイントですが、2ページをご覧ください。原油価格・物価高騰等への緊急対策ですが、いまだコロナ禍の影響が続く中で、さらに原油価格や物価が急激に高騰しているという現況の中で、さまざまな場面で市民の皆さんや企業の事業者の皆さんの社会経済活動に影響が出ております。それを受けて、議会の各会派の皆さんからも要望をいただいておりますので、そこに国との連動をして、スピード感をもって対策を講じました。具体的には、まず生活をしている市民の皆さんへの支援ですが、従前の低所得の子育て世帯や住民税非課税世帯の皆さんに対する特別給付金に加えて、学校やこども園などで保護者の皆さんの負担を増やすことなく、これまでと変わらない給食を提供するための経費などを計上致しました。また、今まで2回実施をしております、とても好評だったモバイル決済サービスを活用したポイント還元キャンペーンの第3弾を実施致します。それも、これまで2回の取組は一人あたり最大5千円分だったところ、今回は最大1万円分、さらに実施期間を1カ月間から2カ月間に延長して、ポイント還元キャンペーンを実施致します。次に事業者の皆さんへの支援ですが、まず中小企業の経営相談、割と多くなっております。今までは平日午後だけでしたが、午前中も開く、しかも利便性を高めるために土曜日も10時から17時まで窓口を開設するというをしたり、あるいは小売り、飲食業の皆さんが新しい商品とか新しいメニューを開発していこうということに対する助成などに要する経費を計上しました。さらには静岡市が発注する公共事業を適正な価格で実施するために、道路や河川、上下水道など、建設資材の高騰に伴った工事費用を増額致します。

次に二つ目ですが、6ページをお開きください。新型コロナウイルス感染症への対策です。まず重症化リスクの高い方への4回目接種などに要する経費に加えて、5歳から11歳の小児接種を行っていただく医療機関に対する助成を行うための経費を計上致しました。また、患者さんの発生届の入力などの一部業務を外部に委託することによって、保健所業務の効率化を図ってまいります。現場の負担を少しでも減らそうという取り組みであります。

8ページをお開きください。三つ目ですが、脱炭素社会実現への対策であります。前回の会見で話をした通りですけれども、市内三つのエリアにおけるカーボンニュートラルを実現するために、再エネ設備の導入をすることに対する助成費を計上しました。まずはカーボンニュートラルポートにしていく、清水港をそんな世界レベルの港に引き上げていきたいというふうに思っています。

最後に10ページをお開きください。この三つのポイント以外にも、今議会で上程した多文化共生のまち推進条例について、市民の皆さんに知っていただくための経費と、市民と外国人の皆さんとの交流を促進するための経費も計上しております。以上、今回の補正予算編成の結果、令和4年度の予算額の累計は一般会計が約3,449億円、特別会計と企業会計を合わせた総額では約6,618億円となりました。よろしくお願い致します。

◆司会

それではただ今の発表につきまして、皆様からのご質問をお受け致します。いかがでしょうか。読売新聞さん、お願い致します。

◆読売新聞

読売新聞社です。西ヶ谷清掃工場運転事業のコークス、キレート、価格上昇対策費も予算に盛り込まれております。実は私、先週土曜日にこの西ヶ谷に伺ってきたのですが、家庭ごみの持ち込みの車が列をなしているのに、少々驚きました。聞けば静岡市では持ち込みが無料だそうです。私がこちらに赴任する前に住んでいた千葉県の自治体では有料で、重量に応じて課金されておりました。静岡県内でも周辺自治体は有料なところがほとんどだそうです。利用者にとっては、無料はありがたいのかもしれませんが、私のように持ち込まない者にとって、税金の一部がこのような形で使われるのはどうかという気が致します。有料の周辺自治体から持ち込んでいる人もいるという話も耳にしました。なかなか人気の出ない政策かもしれませんが、今回の燃料価格の高騰を機に、市民のエコ意識を高めるためにも、家庭ごみの持ち込みについて有料化を検討するお気持ちはありませんでしょうか。お伺い致します。

◆市長

ご提言をいただきありがとうございました。一つのきっかけになろうかと思えます。ただし、今まで無料で受け入れていたという経過がありますので、これから慎重に検討していきたいと思えます。でも、いずれにしましても、コース価格の急騰ということは、対応しなければいけません。より効率的なごみ処理の方法等も含めて、さまざまな検討を深めてまいりたいと思えますし、市民の皆さんには今一度、無料とはいえ限られた資源を有効活用すると共に、処理費を少しでも抑えるためにも、ごみ減量の取り組みを各家庭で引き続きお願いをしたいというふうに呼び掛けたいと思えます。以上です。

◆司会

その他いかがでしょうか。補正予算案に関しまして、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは幹事社質問に移りたいと思えます。NHKさん、よろしくお願ひ致します。

◆NHK

NHKです。エスパルスとスタジアムの関連で四つ伺います。まず一つ目、清水エスパルスの平岡監督が解任されました、成績の低迷によるものです。今、降格ラインぎりぎりというところですが、市長はエスパルスを静岡市の心の公共財と位置付けていますが、エスパルスの今期に限りませんが低迷が続いていることと、シーズン途中の監督解任が常態化していることをどう評価されていますでしょうか。また暫定監督、篠田さんや今後選ばれる新監督にはどのようなことを期待されていますでしょうか。

◆市長

記者のおっしゃる通り、トップチームが、「おらがまち」にあるということは心の公共財だと思っています。オリパラを経験して、私たちは皆スポーツの力、スポーツというのは市民の心を一つにする大きな力がある。そのシンボルとして、エスパルスを私たちはホームタウン推進係もスポーツ交流課の中に設置をして下支えをしております。そういう中でのシーズン途中の監督の交代は、とても残念です。でも、まだまだ先はあります。まだシーズン半ばでありますから、チームを立て直し、そして強いエスパルスとして巻き返しを図っていただきたいということを、市民やサポーターの皆さんと共に応援をしていきたいというふうに思っています。

◆NHK

二つ目の質問です。市長はエスパルスの新たな本拠地となるサッカースタジアム建設に向けた検討委員会の設置を、今年度すると表明しています。この新スタジアム構想はエスパルスの成績に関係なく、検討を進める考えでしょうか。それとも今のような成績の低迷や、場合によってはJ2への降格、それに伴い、市民の不満が高まるようであれば、新スタジアムの実現は遠のくとお考えでしょうか。

◆市長

行政の立場からすると、成績にかかわらず首尾一貫して検討を進めていきたいと思っています。

◆NHK

成績の低迷に伴う市民の理解が得られるかどうかという点については、どうお考えですか。

◆市長

それは市民の皆さんのこれからの世論の動向を見守っていききたいというふうになっています。

◆NHK

分かりました。三つ目にサポーターの間ではかねがね、今のIAIスタジアム日本平はJリーグの基準に合わないために、降格やクラブライセンス剥奪の対象になってしまうと訴える声があります。こうした指摘について、市長の認識はいかがでしょうか。

◆市長

現時点ではこのことを理由にして、降格とかクラブライセンスの剥奪の対象にはならないというふうに理解をしております。しかし、基準を充足していないという現状からも、今後新しいスタジアムの検討は必要であるということで、その取り組みを始めているところであります。

◆NHK

そして最後にエスパルスの山室社長は新しいスタジアムについて、試合だけではなくコンサート利用や見本市の需要もあると思うと、利活用の方向性について述べています。静岡市としても新スタジアムはコンサートや見本市の需要が

あると見込んでいらっしゃるのでしょうか。

◆市長

一般論としては交通アクセスが非常に優れております。東京からも近いですし、あるのではないかな、一定の需要のほう、あるのではないかなと考えています。でも、これからそこも含めて検討会を組織して、議論を始めようというふうに考えておりますので、その議論に委ねていきたいなというふうに思っています。

◆NHK

補足です。伺いますが、このコンサート利用や見本市の見込みについてはある程度、企画課等々で調査された経緯もあったと聞いておりますけど、そのあたり所管でも結構ですので、どういう見解を持っていらっしゃるか、お聞かせいただけませんか。

◆企画課長

企画課の鈴木と申します、よろしく申し上げます。スタジアムなどを利用したコンサートですとか、見本市の需要については、現在、まだ特に調べはしておりませんので、それについても、まだ明らかになっていないというのが現状でございます。以上でございます。

◆NHK

現状では市としてはスタジアム、J1の試合だけだったら二十数試合で、利活用の面で課題があるだろうと、これは一般論ですが、その代わりにコンサートや見本市が誘致できるという見通しは持っていらっしゃるということでしょうか。

◆企画課長

誘致できるかどうかについても、この後、検討会をまた設置をして協議をしてまいりますので、その中での話し合いになってくるかというふうに思っております。以上でございます。

◆NHK

分かりました、ありがとうございます。

◆司会

それではただ今、幹事社質問に関連したご質問を皆様からお受けをしたいと思います。

思います。いかがでしょうか、よろしいですか。
ではNHKさん、お願い致します。

◆NHK

すいません、私、今日、質問することを子どもたちと約束していますので伺います。今、葵区の千代田小学校の6年生の社会科で、静岡市がスタジアム含め相次いで打ち出している大型事業について、5時間をかけて学ぶ授業が行われています。児童たちは今日の会見のことを知っていて、YouTubeで見る可能性が高いので、子どもたちの目を意識してお答えいただきたいのですが、授業の中では、「こんなにいろいろなものが、スタジアム、アリーナ、博物館、水族館等とこんなに造れるぐらい、静岡市には税金が集まっているんだ」という驚きの声、一方で「予算が足りなくなったら僕らが税金を払わなきゃいけない」と心配する声、活発な議論が交わされています。昨日もサッカースタジアムについて、賛成の児童からは「病院が近くにできると、けが人をすぐ運べて便利だ」ですとか、「電車で行きやすくなってお客が増える」という意見がありましたし、反対の児童からは「病院や通勤の人に迷惑だ」「お金が高いので日本平にあるスタジアムを改装すればいい」という意見など、それぞれありました。市長はこうした子どもたちの議論をどう受け止めていますか。

◆市長

小学校6年生が社会や私たちのまちづくりに関心を持って、いろいろ議論を交わしてくれたということは大変心強く思っています。

◆NHK

市はスタジアムの構想を、検討を進めるという立場ですが、騒音や予算を懸念して反対している子どもたちへの反論は何かありますでしょうか。

◆市長

一つ一つ丁寧に説明をしていきたいと思っております。財源、あるいは財政規律というものはしっかり守った上で順番に計画をしていく。あるいは民間の資金に期待をするということも説明しながら、スタジアムを、ぜひ整備していきたいという市長のメッセージを、千代田小学校の6年生の皆さんにお伝えしたいと思えます。

◆NHK

本当に子どもたち、よく考えていて、「予算不足になるのではないかと」、「予算

足りなくなったら、僕らが税金払わなきゃいけない」と、ここまで考えた意見が出てきて、「場合によっては消費税上げる必要もあるのではないか」という意見まで子どもから出てきているのですけれど、そういった子どもたちへの後年度負担にならないのかという懸念についてはどうでしょうか。

◆市長

千代田小学校6年生の皆さんがもしこれ、YouTubeで聞いていたら、ぜひお伝えをします。サッカースタジアム、立派なものを造り直さなければいけないと市長は思っていますよ。ただ財源は大事です。皆さん方に負担をかけるようにはしたくないということで、ぜひ今後、慎重に検討していきたいと思いますので、さまざまな角度から、切り口から、またこの議論を深めていただきたいな、ということをお願い致します。千代田小学校6年生の皆さん、どうもありがとう。とても元気をいただきました。財政局長が、ここで今日は同席しておりますので、そのあたりの両立というものをどう考えているか、少し実務的なレベルで説明していただければと思います。

◆財政局長

財政局長の大石です。今回、このサッカースタジアムの件が議論されていますけれども、これ以外の事業、市にも千以上の事業があります。それら全体をどのように進めていくか、ということのをこれからまた議論していかなければならないと思っております。その中で、これからの人口減少を含めた税収の見込み、そして歳出、今回のように物価高騰による各事業への影響等もありますので、さまざまな事業がいろいろなところに今後の財政運営に絡んでくると思います。サッカースタジアムもそのうちの一つということで、まだ全くこれは規模感とか財源とか、どのくらい市が負担するのか、負担しないのかということも全く決まっておられませんので、そういったことを明らかにしていく中で、全体の中で議論していけたらいいなと思っております。私からは以上です。

◆NHK

私からも一つ、最後です。この千代田小の最初の授業、先週火曜日でしたか、スタジアム構想の賛否について投票行われて、賛成 15、反対 13、考え中1という、ようやく定量的なデータが出てまいりました。この結果をどう受け止めていますか。

◆市長

サッカースタジアムを欲しいという気持ちを感じつつ、しっかり勉強して慎重

な検討が必要なのだな、ということも踏まえられた、そんな数字だろうか、というふうに思っています。どうぞ、他にありますか。

◆NHK

つまり、これで市民を代表するデータとは申し上げませんが、賛成 15、反対 13 という、この6年生たちの意見、市長が前回の会見でおっしゃったような、サイレントマジョリティは市の方向でいいよ、と思ってくれていると背中を押してくれているという定性的なデータだというふうに、みなせますでしょうか。

◆市長

私の肌感でいいますと、この前申し上げた通り、清水に行けば市民の皆さんは老朽化したスタジアムをいいものにしてほしいと、アクセスのいいところにしてほしい、という思いは強いというふうに感じています。昨日、日本とブラジル戦、ご覧になりました記者は？ご覧になりましたか。

◆NHK

どうぞ。

◆市長

答えられない？雨の中の試合でした。新しいスタジアムは観客席がJ1ライセンスに合致するように雨の中でも濡れないように、中の試合を応援できるような、そんな環境を整えていきたいというふうに思っています。

◆NHK

ありがとうございます。

◆司会

それでは幹事社質問の関連のご質問いかがでしょうか。

それでは、その他のご質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。先に朝日テレビさん、お願い致します。

◆朝日テレビ

朝日テレビです。リニア工事に関する質問ですが、JR東海のほうから田代ダムの取水抑制案というのが出てきまして、これについて、山梨県の早川町の辻町長が一部の新聞のインタビューの取材に答えて、電源交付金が減額になっても、

このＪＲ東海の田代ダムの取水抑制案を受け入れると明言しました。静岡市もこの田代ダムの電源交付金を受け取っている立場にあると思いますが、このＪＲ東海の取水抑制案についてはどのように受け止めているのか、お聞きします。

◆市長

取水制限によって第２発電所が発電量を減少させる、そのことによって交付金の減少に影響があるかもしれません。しかし、静岡市への影響は早川町よりもさらに限定的であると考えております。

◆朝日テレビ

ありがとうございます。

◆司会

ではテレビ静岡さん、お願い致します。

◆テレビ静岡

テレビ静岡です。よろしくお願ひします。２点質問があります。１点目は今のリニアの関連なのですけれども、田代ダムの取水抑制案そのものについては、市長として評価はいかがでしょう。

◆市長

私は議論すべき案だと思っています。

◆テレビ静岡

検討に値するということでしょうか。

◆市長

おっしゃる通り。

◆テレビ静岡

もう１点、電源交付金が多少なりとも減るといふこと。減った場合、ＪＲ東海に補填を求めるのか求めないのか、そのへんはいかがでしょう。

◆市長

まだどのくらい増えるかどうか分からないです。ですので、これからもう少し

議論を深めた上で、静岡市の対応を考えていきたいと思っています。まずは、この議論を進めてもらわないと、合意形成をしていくということが大事ですので、大きな議論の進展のきっかけになることを、静岡市としては期待しています。

◆テレビ静岡

先ほど検討に値するとおっしゃったのは、いわゆる知事はトンネル工事とは別の話と言っていますが、トンネル工事の着工の条件に関連して、田代ダムの家というのとは一定の議論の検討の余地があるということでしょうか。

◆市長

私は、これはトンネル工事と一体のものだというふうに思っています。井川に何度も行って、井川の方々の昔からの歴史とか肌感覚、そんなことを聞いております。また辻町長はベテランの町長で山のことを熟知しています。その辻町長がこんなふうにおっしゃったということは、私はすごく重い発言だというふうに思っています。

◆テレビ静岡

わかりました。もう1点、すいません。清水庁舎の移転事業についてなんですが、先日1回目の検討委員会が行われました。その中で日程感、スケジュールが示されたと思いますが、委員の中からもなかなか日程が、第3回目まで日程、整備手法と場所を決めるという、非常にタイトな日程ということで、決めなきゃいけない検討事項が多いという意見が、いろいろな委員から出たのですけれども、まず1回目の検討委員会で、そういった委員の発言を受けて、市長のところに報告が上がっていると思いますが、受け止めはいかがでしょうか。

◆市長

初回から活発な議論をしていただいたということを大変心強く思っています。とにかく私の任期も、あと1年ですし、今年度中になんとか、このことの方向性を出していただきたいな、ということをお願いしております。

◆テレビ静岡

委員の中には、例えばコンセプトを決めてほしいとか、何も決まってない中で丸投げじゃないですけれども、そういった印象も受けている委員もいるみたいで、もうちょっと何か固まった市としての思いというのがあれば、比較的議論がスムーズに進むのではという意見もありましたけれども、そのへん、もう少し

コンセプトとかを決めるとか、そういう考えというのはありますでしょうか。

◆市長

これは、私の施政方針をその委員の方に読んでいただきたいな、というふうに思いますが、ポストコロナ時代の新しい庁舎のあり方はいかにあるべきかと、ここがコンセプトであります。施政方針の中で述べたように、14世紀のペスト禍によっても人々のライフスタイルというのがガラッと変わりました。ルネサンスを呼び起こしたわけです。と同時に、この世界的なパンデミックに合わせて、人々の価値観、ライフスタイル、随分変わってきました。リモートも発展を致しました。そういう社会の変化に対して、コロナ前に計画をした庁舎の考え方と、ポストコロナの時代に求められる庁舎のあり方は違うのではないかという問題意識から、今回フラットの複数の提案をしたわけでありますので、そこが最大のコンセプトだということを、ぜひお伝えいただきたいと思えます。

◆テレビ静岡

1点だけすいません。清水庁舎、今、1,000人弱ぐらいの職員が働いていると思うのですが、会議の中で出たのは、新しい庁舎の人員的な規模感を示していただかないと、そこを委員とか委員会に決めさせるのは結構酷だと思うのですが、市としてポストコロナの清水庁舎に、例えば今の1,000人の3分の2を残して3分の1は違うところに分散させるとか、そういった考えとか、そういったことは決める考えというのはないのでしょうか。

◆市長

企画局長、お願いします。

◆企画局長

清水庁舎を所管しております、企画局長の松浦でございます。前回の会議で、今ご指摘いただいた職員数であるとか、あるいは分散配置はどうかといった多岐にわたるご意見をいただきましたので、次の会議に向けて市としてどのような考え方をもって臨むのかというのを今、所管において検討している最中でございます。

それと、先ほどご質問がありました静岡市の電源立地地域交付金につきましてですが、本市の電源立地地域対策交付金の対象となる発電用施設は、先ほどの田代川の第2発電所、他10施設ございまして、交付額は発電量の合計をもとに算定されるため、一つの発電量、取水量のみではその影響を予測することは困難であるというふうに現時点では考えております。以上でございます。

◆テレビ静岡

ごめんなさい、田代ダムの件で、今、総額でどのくらいもらっているか、分かります？現状で。

◆企画局長

企画局長です。すいません、今、手元に数字がございませんので、また改めてご案内したいと思います。

◆財政局長

財政局長です。令和4年度の当初予算ベースですが、5,544万6,000円という額が電源立地交付金の受け取る予定額になっております。以上です。

◆テレビ静岡

分かりました、ありがとうございます。

◆司会

朝日新聞さん、お願い致します。

◆朝日新聞

田代ダムの件で重ねて質問させてください。JR東海のほうから、この田代ダム案というのは、まず市の当局のほうに、こういう案を、今、考えているというふうなお話は持ち込まれた経緯はございますでしょうか。

◆市長

ということは、ございません、私のところには。

◆朝日新聞

それでは、はっきりさせておきたいのですが、この田代ダム案の提案を市長は受け入れますか、受け入れませんか。イエスかノーでお答えください。

◆市長

先ほど申し上げました通り、議論のきっかけにするという意味では受け入れたいと思います。

◆朝日新聞

ありがとうございました。

◆司会

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。SBSさん、お願い致します。

◆SBS

SBSです。東海大の三保の水族館が今年度末で一般公開を終了するという発表がありました。海洋文化施設、これから進める中でけれども、完成が2026年4月になりますので、少なくとも3年間、清水区から一般公開するような水族館が消えるということになるのですけれども、この点について、受け止め、どのように思われているか教えてください。

◆市長

松坂屋にアクアリウムできましたよね。それも、ぜひ多くの皆さんにお出掛けいただきたいなということを落合店長に成り代わりまして、私からPRさせていただきたいというふうに思います。そして東海大学、老朽化しておりますので水族館、長年、本当に親しまれてきました。私も少年時代、何度も行きました、思い出のたくさんある施設です。本当に長い間ありがとうございました、ということをお願いしたいと思います。そして、ここからは、東海大学の海洋学部の今までの研究の成果、蓄積、そこをしっかりと継承するような形でJAMSTECさんとも相まって、新しい海洋文化施設にその知見を受け継いでいきたいな、というふうに思っています。

◆SBS

これは担当課に聞いた話でもあるのですけれども、もう一度お伺いしたいのですが、東海大が今年度末で一般公開を終了してしまうよ、というようなこと、海洋文化施設まで、だいぶ水族館という意味で空白が生んでしまうということでは、そういうことが事前に市と担当レベルでも相談があったりだとか、それでもいいか、というようなことがあったりという経緯はあったのでしょうか。

◆市長

もちろんありました。とにかくかなり厳しい老朽化の現状なので閉館したいという意向があると、だからこそ将来の海洋文化施設、一緒に公民連携していいものを造ろうよ、という山田学長と私の合意に至っております。ただ、記者さん、よく言われることが、ですから、将来この今までの50年の蓄積が市も下支えを

する海洋文化施設に継承発展をされていくわけなのです。なんだけれども、市民の皆さんには三保に東海大学の水族館があるにも関わらず、もう一つ新たに日の出地区に水族館を造るとするのは税金の無駄遣いだ、あるいは二重投資だと、そういう声も聞いております。「だから、それは違うのですよ」と、今までずっと3次総の中で7年間、東海大学の皆さん、海洋開発研究機構JAMSTECの一流の研究者の皆さんと、アメリカカリフォルニア州のモンレーベイの水族館を視察した、こういう世界レベルの海洋文化施設を造っていこうよ、という志を一つにして、着々と進めてきたということで、その中で東海大学の今の水族館もこう継承していくということですので、ぜひ、そのことは市民の皆さんに報道機関を通じてお伝えいただきたいなというふうに、お願いを致します。

◆SBS

元々、三保の水族館が、海洋文化施設ができるにあたって閉館するであろうというところは、もちろん認識していたのですけれども、バトンタッチをするような形で海洋文化施設がオープンするということになるのかな、と思っていたのですが、そうはならなかったということで市のほうから、もう少し続けてほしいだとか、そういう、例えば交渉があったとか、そのあたりについてはいかがでしょうか。

◆市長

コロナ禍でわれわれは、われわれの、いろんな市民の声を通じて、命を守る取り組みに予算を重点配分するべきか、ということで、この海洋文化施設、いったん停止を、2年前、事業停止をして立ち止まったわけですが、という中での今回、閉館ということですので、これはやむを得なかったなというふうに思っています。ただ令和7年度中、あるいは8年にはオープンするべく、今、海洋文化推進都市の担当の職員、頑張ってくれているので、それに期待していただきたいということをお願い致します。

◆SBS

本来でしたら、そういうような形でバトンタッチができればよかったけれども、事業停止が影響してこういう空白期間が生まれてしまったという認識がある。

◆市長

結果論です。最初から想定されていたわけではありません。

◆SBS

分かりました、ありがとうございます。

◆司会

その他いかがでしょうか。NHKさん、お願い致します。

◆NHK

NHKです。2月に静岡病院でコロナの判定を受けた後、自宅療養になって亡くなった知的障害のある男性の件について伺います。もし、この方のことについて、4月22日の記者会見で、ご家族が納得できるだけの説明検査、いわゆるインフォームドコンセント、あるいは知的障害者に対する合理的配慮に欠けていたのではないかというご遺族の思いに基づく質問をしたのに対して、市長は考えを受け止めて今後検討するとおっしゃいました。その後1カ月以上経っていますが、どういった検討状況でしょうか、今。

◆市長

それはもちろん、静岡病院の考え方というものを尊重していかなければいけないというふうに思っています。今、突然のご質問でしたので、ただ今いただいた質問に対して正確にお答えをする準備はできておりません。後ほど別途対応させていただきたいというふうに思います。

◆NHK

市長、この問題、受動的、独立行政法人だからということだと思えますけれども、市長のほうからこういうことを検討してみてもどうかと、病院長なり理事長におっしゃることは特にないのでしょうか。

◆市長

まず理事長、病院長がこのことについてどういうふうに捉えているかということをお伺いからの話だろうと思います、順番として。

◆NHK

2月に亡くなって、毎日新聞さんの報道で広く知られるようになって、もう3カ月とか4カ月たちますけど、何か検討されたこととかないのでしょうか。

◆市長

報告、まだいただけていませんので、ぜひ報告をするようにということは保健福

社長寿局を通じて、この質問をきっかけに指示したいと思います。

◆NHK

4月の会見の段階で市長、今後検討するとおっしゃっています。市長の中で検討するというのは、いわゆるお役所言葉、何もしないということと同じなのではないでしょうか。

◆市長

そんなことはないです。検討するというのは相手があることです。日本語の使い方として、私自身が熟考するというのと、検討するという言葉、使い方が違います。そういう意味では相手方があって検討することです。この主体者は独立行政法人の静岡病院です。そのトップである理事長や病院長の考え方というのを聞いた上で検討を進めるということを申し上げたということをご理解いただきたいと思います。

◆NHK

本当に市長…

◆市長

理解してもらえました？

◆NHK

質問します。

◆市長

いやいや教えてください、僕、丁寧に、丁寧に説明をしているのですから。

◆NHK

今、私は浮かんだ疑問についてご質問します。市長が本当に検討してくれているのかなと、ご遺族の方が不信感というか、思ってしまう理由として市長、4月22日の会見、この私との受け答えの中で笑っていらっしゃるのです、2回ほど。非常に、その会見の様子、YouTubeでご遺族の方、ご覧になって、ご遺族がどういう感情を持たれたか、お察しできますでしょうか。

◆市長

いやいや、それは、失礼があったとするならばお詫びを申し上げます。ただし、

私の考え方というのは、まずは病院の皆さんが検討しているということを感じて、その検討の結果を待った上で市長部局と一緒にあって、対処をしてまいりたいというふうに思います。

◆NHK

なぜ、人の死について考え、こうしたことをどうしたら防げるのかということを検討するような説明の場で、市長、笑みを浮かべるのですか。

◆市長

それは遺族の方に対して笑みをしているわけではありません。

◆NHK

現に、ご遺族はそれで非常に心情を害されています。

◆市長

それは誤解です。先ほど申し上げたように、それだったらお詫びを申し上げたいと思います、遺族の皆さんに対しては。

◆NHK

今の市長のご説明ですと、そのやり取りの中で笑みを浮かべたのは、理由があったということでしょうか。

◆市長

あなたの質問が、こういうすごくセンシティブな質問で、それはいろいろなことが、この背景にはあります。それを一点の切り口から質問するということに対して、私自身笑うしかないな、という気持ちでそういう表現になったのだらうと思います。ただし、もう一度繰り返して申し上げますけれども、遺族の方々に対して、そういう気持ちであったとするならば、それはお詫びを申し上げます。

◆NHK

笑うしかないというのは、この点についてご遺族が非常になぜだろうという疑問を持ち続けていて、それを聞いている私が、記者として質問することを笑うしかないということでしょうか。

◆市長

そうです。

◆NHK

それは笑うしかないというのが、それが市長の考えであり人格であるということでしょうか。

◆市長

おっしゃる通りです。

◆NHK

当時、市立病院、静岡病院で自殺された職員の方に関するこの会見のやり取りの中でも市長、遺族の心情を非常に害する発言をされています。2年前、3年前のことになりますけれども、どうしてもわざわざ、裁判等で争いがあることについて主張するのは、それは結構なのですけれども、どうしてもご遺族の心情を害するような対応、受け答え、ましてや今回は笑みを浮かべる表情、こんなことを、わざわざ繰り返されているのでしょうか。

◆市長

これも同じです。2年前のことについても、私がこの会見の場で真摯な気持ちでご遺族の皆さんに対してお悔やみの気持ちを述べたつもりであります。

◆NHK

現にその時の…

◆市長

それはご存じですよ。

◆NHK

ええ、覚えています。現にその時のご遺族も、今回のご遺族も市長の受け答えや態度について、非常に心情を害されているのです。

◆市長

先ほどと同じでございます。

◆NHK

笑うしかないというのが。

◆市長

笑うしかないというのはご遺族の方に対してではないということを、ぜひ受け止めてください。

◆NHK

私はご遺族の話を聞いて、こういったことを市長さんに聞いてほしいですよ、なんとなれば、かなうことなら私たち遺族が市長と会いたいぐらいなのですという言葉を聞いて、それを背負って質問しております。

◆市長

分かりました。

◆NHK

それは笑うしかないことですか。

◆市長

記者の考え方は一つの考えとして受け止めることに致します。

◆NHK

この会見もご遺族ご覧になっていると思いますので、非常に残念です。

◆市長

ご遺族の皆さんに申し上げます。本当にお悔やみ申し上げますと共に、そんな気持ちで私は受け答えをしたと毛頭思っておりません。誤解を与えたならば、大変申し訳ないというふうに思っております。

◆司会

その他いかがでしょうか。テレビ静岡さん、お願いします。

◆テレビ静岡

テレビ静岡です。たびたびすいません。リニアの話に戻ってしまって恐縮なのですが、明日から国の有識者会議、生物、生態系への影響について始まりますが、市長、その会議に期待することをお願いします。

◆市長

リニアの件ですね。

◆テレビ静岡

はい。

◆市長

議論が進展することを期待しています。

◆テレビ静岡

生態系への議論が明日から始まりますけれども、具体的にもう少し期待の声みたいなのがあれば教えてください。

◆市長

国においてですよ。

◆テレビ静岡

はい。

◆市長

増澤先生もこの委員の中に入られたということでもあります。静岡大学の増澤先生はこのことについて、大変な専門家でありますし、静岡市と共に環境アセスのことについても議論をしていきました。その増澤先生も委員に入る中で、この生態系の議論が進展をして、そして大きなリニアとの問題との合意が形成されればいいなということを願っています。

◆テレビ静岡

分かりました、ありがとうございます。

◆司会

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは以上で、本日の定例記者会見を終了させていただきます。次回は6月24日、金曜日の11時からの予定となっております。本日もありがとうございました。